

埼玉りそな銀、日本公庫・信保協と若手研修 川越で施策紹介やグループ討議

2025.05.23 18:30



各班で自己紹介する若手行職員（5月23日、埼玉りそな銀川越支店4階）

埼玉りそな銀行は5月23日、川越支店で日本政策金融公庫と埼玉県信用保証協会の若手行職員と研修を実施した。日本公庫や同信保協の重点施策および連携施策などを座学・グループディスカッションを通じて学んだ。同行、日本公庫、県保協の埼玉県西部営業店に勤務する入行庫1～6年目の20代行職員53人が参加した。

座学では同行と業務提携する日本公庫の職員が3事業（国民生活、農林水産、中小企業支援）の主な業務を紹介。創業・ベンチャー・新事業に取り組む顧客で全額の資金支援が困難な場合などに同公庫を活用することを紹介した。

同信保協は、川越支店の職員が「協調支援型特別保証制度」を案内。制度の資格要件や利用期間に応じて国が補助する信用保証料の割合が変わることなどを紹介した。

グループワークでは参加者を9班に編成。各自A4用紙を8分割して、自身に関するキーワードを書き込み、班のなかで自己紹介した。次に中小企業が直面している課題に対してどのような対応ができるか、なぜそのように対応するのかを班内で話し合い、共通点や異なる点を挙げた。最後に顧客の課題解決に向けて、各班で話し合った外部活用策や解決事例を共有した。